

各位

野木沢地区まちづくり委員会
委員長 近内光慶

令和3年度野木沢地区まちづくり委員会の取り組みについて

持続的な地域づくりのため平成21年石川町第5次総合計画によって設立された「まちづくり委員会」の取り組みについて、多くの皆様に知って頂くため昨年報告させていただきましたが、今年も、活動内容を報告させていただきます。

なお、今後の野木沢地区デザインを策定するためにも、活動内容を確認のうえご意見を伺いたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

ご意見は以下の方法でお願いいたします。

(意見はパブリックコメント方式で行いたいと思います)

1. 用紙の場合：野木沢自治センターへ郵送か持参でお願いします。(FAXでも可)
2. メールの場合：nogisawa_center2@cap.ocn.ne.jp
3. ホームページから：nogisawajiti.com/contact.html (お問い合わせ)タブ
4. お問い合わせ先：野木沢自治センター

〒963-7837 石川町中野字水無 59

電話：0247-26-4939 FAX:0247-26-3135

Email：nogisawa_center2@cap.ocn.ne.jp

※ 令和3年度版は各戸へ配布致しますがホームページからも閲覧できます

URL:nogisawajiti.com/soumu.html

QRコードはこちら



令和3年度決算書

【収入】

(単位：円)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 差引 | 説明 |
|-------|-----------|-----------|---------|------------|
| 事業収入 | | 364,697 | 364,697 | イチジク販売収入 |
| 補助交付金 | 1,280,000 | 1,280,000 | 0 | 地区まちづくり交付金 |
| 繰越金 | 692,767 | 692,767 | 0 | 前年度繰越金 |
| 雑収入 | | | 0 | |
| 合計 | 1,972,767 | 2,337,464 | 364,697 | |

【支出】

(単位：円)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 差引 | 説明 |
|----------|-----------|-----------|-----------|---|
| 会議費 | 55,000 | 69,349 | 14,349 | 理事会・総会0円、各部会0円、U50まちづくり集会43,088円、人材バンク登録事業0円、通信費等26,261円 |
| イチジク生産費 | 390,000 | 386,518 | △ 3,482 | イチジク管理費175,118円(肥料、防虫剤など) 作業員手当161,400円(販売支援含む) 畑借地代50,000円(2圃場) |
| 地区交流事業費 | 150,000 | 0 | △ 150,000 | のぎさわときめき交流祭事業費(コロナ禍の為中止) |
| 中野部会事業費 | 150,000 | 100,000 | △ 50,000 | 藤田城跡整備事業費30,000円 野木沢駅前活性化事業費70,000円 |
| 曲木部会事業費 | 210,000 | 203,900 | △ 6,100 | 小和清水環境整備事業費123,900円 別途小和清水整備費80,000円 |
| 塩沢部会事業費 | 128,000 | 129,140 | 1,140 | 鉾石水整備62,140円 禿山整備47,000円 ほか |
| 情報発信事業 | 50,000 | 43,960 | △ 6,040 | レンタルサーバー代43,960円 |
| 特産品部会事業費 | 360,000 | 655,337 | 295,337 | 加工所賃借料100,000円 加工所光熱水費120,000円 特産品開発 133,948円 カフェ事業 301,389円 |
| 子育て支援事業 | 275,000 | 319,855 | 44,855 | 野小っ子クラブ143,664円 育成会 15,623円 3年生送る会60,000円 学校支援事業100,568円 |
| 予備費 | 204,767 | 0 | △ 204,767 | 通信費(はがき、切手代) |
| 合計 | 1,972,767 | 1,908,059 | △ 64,708 | |

収入合計 2,337,464

支出合計 1,908,059

差引 429,405

| | | | | |
|--------------------------------|--------------------|--|---------------------|--------|
| 担 当 部 会 | | 総務・地域づくり部会 | | |
| 事 業 名 | | 新規事業（総務） 【U50まちづくり集会事業】 | | |
| 計 画 (P L A N) | 事 業 目 標 | 子どもの声が響く地域、健康で生きがいを感じる地域、働き甲斐と潤いを感じる地域、共に支え合い希望と絆を感じる地域、立地条件（地域特性）を活かした地域・未来づくり | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 若い人たちが暮らしや仕事、就学、行政区の活動、ご近所同士の助け合いなど考え、若者が創るまちづくりを目的 | 40,000 | 43,088 |
| 実 施 (D O) | 事 業 内 容 (実 績) | U50まちづくり集会事業 ・18名の方を委嘱する ・年4回のワークショップ開催（6/1, 9/23, 12/16, R4.2/14） 主な意見：キャンプ、イベント、施設の有効利用 | | |
| 評 価 (C H E C K) | 貢 献 度（住 民 ニーズ） | 地方創生や子育て等の観点から若者の思いを伝えることが出来た。 | | |
| | 効 率 性 (コスト) | 年4回のワークショップは少ないようでも考えをまとめる期間があり適当であった | | |
| 改 善 (A C T) | 改 善 | 課 題 | 全員のスケジュールを合わせる事が難しい | |
| | | 方 策 | 事前にスケジュール調整を行う | |
| | 数 値 目 標 (K P I) | 出席率100%（延べ46名 11.5名/回） | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | U50まちづくり集会事業 （小・中学生向けイベント） | | |
| | 事 業 費 | 60,000円 | | |

| | | | | |
|--|----------------------|---|--------------------------|--------|
| 担 当 部 会 | | 総務・地域づくり部会 | | |
| 事 業 名 | | 新規事業（総務） 【情報発信事業（ホームページ開設）】 | | |
| 計 画 （ P L A N ） | 事 業 目 標 | 子どもの声が響く地域、健康で生きがいを感じる地域、働き甲斐と潤いを感じる地域、共に支え合い希望と絆を感じる地域、立地条件（地域特性）を活かした地域・未来づくり | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 自治協議会の活動内容を広く住民に伝え、情報提供を推進する | 43,740 | 43,960 |
| 実 施 （ D O ） | 事 業 内 容 （ 実 績 ） | 情報発信事業（ホームページ更新） ・ホームページ更新（令和3年6月9日更新） ・会報の発行（2回発行） | | |
| 評 価 （ C H E C K ） | 貢 献 度 （ 住 民 ニーズ ） | 広報活動に力をいれる 多くの地区民（幅広い世代）に情報を伝達する手段として有効である | | |
| | 効 率 性 （ コスト ） | 紙媒体と一緒に使用することにより多くの人に情報が行き渡る | | |
| 改 善 （ A C T ） | 改 善 | 課 題 | デジタルデバインド（特に高齢者）の方に伝える方法 | |
| | | 方 策 | 自治センターでの勉強会の実施 | |
| | 数 値 目 標 （ K P I ） | ホームページ更新（新ページへ変更）90% 2回発行（1回）50% | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | 情報発信事業（ホームページ運営）レンタルサーバー代含む | | |
| | 事 業 費 | 50,000円 | | |

| | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|--------|
| 担 当 部 会 | 総務・地域づくり部会 | | | |
| 事 業 名 | まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 歴史を活かした事業 【 藤田城址整備事業】 | | | |
| 計 画 （P L A N） | 事 業 目 標 | 歴史を誇りに夢と希望が語れる地域 | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 地域の歴史的資産を活かし地域活動を、地域住民の意識を図りながら展開し地域財産として活用を図る | 80,000 | 30,000 |
| 実 施 （D O） | 事 業 内 容 （ 実 績 ） | 藤田城址地の整備 ・年3回の草刈り（5/23, 6/20, 8/8雨天中止、9/19） ・柵のメンテナンス作業（11/4） | | |
| 評 価 （C H E C K） | 貢 献 度（住 民 ニーズ） | 地域づくりの核となる藤田城址整備事業は地区民の一体感の醸成に効果がある。 | | |
| | 効 率 性 （ コ ス ト ） | 費用対効果を見れば効果的でない。 | | |
| 改 善 （A C T） | 改 善 | 課 題 | 年4回の奉仕作業に費用がかかり継続性が難しい。また、整備後の活用方法を考えていかねばならない。 | |
| | | 方 策 | 他事業（多面的事業）との連携を図り事業費を削減する。また、利活用については地域の声を聞き進める | |
| | 数 値 目 標 （ K P I ） | 区民参加率66%（参加169名/全班255名） | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | 藤田城址地の整備事業 | | |
| | 事 業 費 | 50,000円 | | |

| | | | | |
|--------------------------------|--------------------|---|--------------------------------|---------|
| 担 当 部 会 | | 総務・地域づくり部会 | | |
| 事 業 名 | | まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 歴史を活かした事業 【小和清水周辺整備事業】 | | |
| 計 画 （P L A N） | 事 業 目 標 | 歴史を誇りに夢と希望が語れる地域 | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 地域の歴史的資産を活かし地域活動を、地域住民の意識を図りながら展開し地域財産として活用を図る | 210,000 | 203,900 |
| 実 施 （D O） | 事 業 内 容 （ 実 績 ） | 小和清水周辺整備 ・遊歩道危険箇所対策 ・遊歩道東屋・清水周辺等の整備 5/6 ・藤棚整備 12/28 ・東屋周辺等ベンチ（テーブル）交換 ・花木等移植（6/12, 6/14） | | |
| 評 価 （C H E C K） | 貢 献 度（住 民 ニーズ） | 区民の好みも異なるが湧き出る清水と春には桜、藤そしてつつじ等の花々が咲き秋には紅葉と憩いの場になっている | | |
| | 効 率 性 （コスト） | もう少し少ない労力と安いコストで維持管理 | | |
| 改 善 （A C T） | 改 善 | 課 題 | 現在の管理範囲が広すぎて今後も継続して維持管理ができるか不安 | |
| | | 方 策 | 小和清水周辺と遊歩道を含め管理範囲の見直し | |
| | 数 値 目 標 （K P I） | 現在整備管理している範囲の縮小 | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | ①小和清水周辺及び遊歩道の整備作業 ②花移植と床作り | | |
| | 事 業 費 | 150,000円 | | |

| | | | | |
|--|----------------------|---|---|---------|
| 担 当 部 会 | | 総務・地域づくり部会 | | |
| 事 業 名 | | まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 自然を活かした事業 【鉦石水周辺整備事業・禿山遊歩道整備事業】 | | |
| 計 画 （ P L A N ） | 事 業 目 標 | 人と自然に豊かな暮らしが感じられる地域 | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指す。 | 128,000 | 129,140 |
| 実 施 （ D O ） | 事 業 内 容 （ 実 績 ） | 鉦石水周辺環境整備 ・つつじ植栽、草刈り ・剪定作業、水質検査 ・つつじ消毒、立て看板修理 禿山遊歩道整備 ・環境整備（草刈り） | | |
| 評 価 （ K C H E C ） | 貢 献 度 （住 民 ニーズ） | 鉦石水については、地域内外から水汲みに来る人が多い。 禿山遊歩道については、利用者が限られ少ない。 | | |
| | 効 率 性 （コスト） | 鉦石水・禿山遊歩道いずれも、低コストで管理出来ている。 | | |
| 改 善 （ A C T ） | 改 善 | 課 題 | 鉦石水周辺のつつじの管理が大変である。法面が急で草刈りなどが大変である。 | |
| | | | 地域での管理（草刈り）が難しくなっているため、業者に一部委託も検討する必要がある。 | |
| | 数 値 目 標 （ K P I ） | | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | 鉦石水周辺環境整備、草刈、剪定作業、水質検査、つつじ消毒68,000円 禿山遊歩道整備 草刈り42,000円 | | |
| | 事 業 費 | 110,000円 | | |

| | | | | |
|-------------------------------|--------------------|---|------------------------------|---------|
| 担 当 部 会 | | 総務・地域づくり部会 | | |
| 事 業 名 | | まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 自然を活かした事業 【イチジク生産事業】 | | |
| 計 画 （P L A N） | 事 業 目 標 | 人と自然に豊かな暮らしが感じられる地域 | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指す。 | 449,600 | 386,518 |
| 実 施 （D O） | 事 業 内 容 （ 実 績 ） | イチジク生産事業 （売上金 365,632円、総収穫量693 k g 内販売数 642 k g） ・イチジク圃場管理 ・草刈り、害虫駆除 ・収穫、施肥、剪定など （イチジク新圃場整備） | | |
| 評 価 （K C H E C | 貢 献 度 （住 民 ニーズ） | イチジクの栽培により休耕田の解消及び販売によりまちづくりの運営資金となっている | | |
| | 効 率 性 （コスト） | 管理費や稼働費と比較し粗利が少ない | | |
| 改 善 （A C T） | 改 善 | 課 題 | イチジク栽培の管理体制の構築について考えていく必要がある | |
| | | 方 策 | イチジク部会の新設または、委託も考慮していく | |
| | 数 値 目 標 （K P I） | 収穫量1トン（実際の収穫量 693 k g）57% | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | イチジク生産事業 ・イチジク圃場管理 ・草刈り、害虫駆除 | | |
| | 事 業 費 | 350,000円 | | |

| | | | | |
|--|---|---|----------------------------|---------|
| 担 当 部 会 | 総務・地域づくり部会 | | | |
| 事 業 名 | まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 自然を活かした事業 【特産品開発事業（地場産品利用）】 | | | |
| 計 画 （ P L A N ） | 事 業 目 標 | 人と自然に豊かな暮らしが感じられる地域 | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指す。 | 100,000 | 133,948 |
| 実 施 （ D O ） | 事 業 内 容 （ 実 績 ） | 特産品開発事業（地場産品利用） ・特産品開発 ・安心館、ベニマル出荷 ・各種イベント参加 | | |
| 評 価 （ K C H E C ） | 貢 献 度 （住 民 ニーズ） | 6次化製品を開発することにより地域の活性化に寄与している | | |
| | 効 率 性 （コスト） | 商品化したものを販売し粗利が出る月もあり効率性は良くなっている | | |
| 改 善 （ A C T ） | 改 善 | 課 題 | 次世代に繋げるため後継者育成に取り組まないといけない | |
| | | 方 策 | 収入を安定し後継者に魅力をアピールしていく | |
| | 数 値 目 標 （ K P I ） | 開発商品1品/年 | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | 特産品開発事業（地場産品利用） | | |
| | 事 業 費 | 100,000円 | | |

| | | | | |
|--------------------------------|---|---|------------------------|---------|
| 担 当 部 会 | 総務・地域づくり部会 | | | |
| 事 業 名 | まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 自然を活かした事業 【簡易直売所事業】 | | | |
| 計 画 （P L A N） | 事 業 目 標 | 人と自然に豊かな暮らしが感じられる地域 | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指す。 | 260,000 | 521,389 |
| 実 施 （D O） | 事 業 内 容 （ 実 績 ） | 簡易直売所事業 ・朝市・惣菜販売 ・カフェ・コモドの立ち上げ（後継者育成をかねて） | | |
| 評 価 （C H E C K） | 貢 献 度 （住 民 ニーズ） | 朝市は地域住民、特に高齢者の食卓に寄与している | | |
| | 効 率 性 （コスト） | リーズナブルな価格で提供しているが効率性はよい | | |
| 改 善 （A C T） | 改 善 | 課 題 | 販売場所及び販路について考査しないといけない | |
| | | 方 策 | 販売経路を増やし収入安定にする | |
| | 数 値 目 標 （K P I） | 売上高300万円（売上額2,010,583円）67% | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | 簡易直売所事業 | | |
| | 事 業 費 | 250,000円 | | |

| | | | | |
|--|----------------------|--|---------------------------|--------|
| 担 当 部 会 | | 総務・地域づくり部会 | | |
| 事 業 名 | | まちづくり事業（第6次総合計画2019年～2028年） 伝統を後世に伝え地域住民の交流を図る事業 【野木沢駅活性化事業（イルミネーション）】 | | |
| 計 画 （ P L A N ） | 事 業 目 標 | ほのぼのと温もりを感じる地域 | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 地域伝統を継承し、人と地域につながるの場と交流の機会を作り、故郷文化の大切さを認識しながら後継者の育成を図る。 | 70,000 | 70,000 |
| 実 施 （ D O ） | 事 業 内 容 （ 実 績 ） | 野木沢駅活性化事業（イルミネーション） ・野木沢駅広場にイルミネーション設営（12月4日～令和4年1月31日） | | |
| 評 価 （ C H E C K ） | 貢 献 度 （住 民 ニーズ） | 水郡線利用者などに大変喜ばれている。また、防犯灯などにもなり地域の防犯にも寄与している。 | | |
| | 効 率 性 （コスト） | 水郡線の利用者維持を考えると効果はある | | |
| 改 善 （ A C T ） | 改 善 | 課 題 | 設備のメンテナンスや電気代など費用がかかりすぎる。 | |
| | | 方 策 | 電気代を中野行政区から助成して頂き、運営する | |
| | 数 値 目 標 （ K P I ） | 野木沢駅周辺防犯0件 | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | 野木沢駅活性化事業（イルミネーション） | | |
| | 事 業 費 | 70,000円 | | |

| | | | | |
|--------------------------------|------------------------|---|----------------|---------|
| 担 当 部 会 | 教育学習部会 | | | |
| 事 業 名 | 子育て支援事業 【野小っ子クラブ事業】 | | | |
| 計 画 (P L A N) | 事 業 目 標 | 子どもの安全安心を確保する | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 児童の放課後居場所づくり | 220,000 | 143,664 |
| 実 施 (D O) | 事 業 内 容 (実 績) | 野小っ子クラブ事業 ・登校日の月、木、金放課後実施 開催日数：92日 参加者：4,236人（登録者数：66名）約46人/日 ボランティア人数：82名 | | |
| 評 価 (C H E C K) | 貢 献 度 (住 民 ニーズ) | 児童を地域全体で育てていく | | |
| | 効 率 性 (コスト) | ボランティア活動により効率的 | | |
| 改 善 (A C T) | 改 善 | 課 題 | ボランティアの確保 | |
| | | 方 策 | ボランティア人材バンクの活用 | |
| | 数 値 目 標 (K P I) | 参加児童割合80% | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | 野小っ子クラブ事業 | | |
| | 事 業 費 | 220,000円 | | |

| | | | | |
|--------------------------------|-----------------------|--|--------------------------|--------|
| 担 当 部 会 | 教育学習部会 | | | |
| 事 業 名 | 子育て支援事業 【子ども育成会事業】 | | | |
| 計 画 (P L A N) | 事 業 目 標 | 子どもの健全育成 | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 次世代を担う子ども達を地域全体で育てていく | 75,000 | 75,623 |
| 実 施 (D O) | 事 業 内 容 (実 績) | 子ども育成会事業 ・3年生を送る会（中学生20名に図書カード贈呈） ・クリスマス会 12/23 ・保育所豆まき | | |
| 評 価 (C H E C K) | 貢 献 度 (住 民 ニーズ) | 児童を地域全体で見えていく | | |
| | 効 率 性 (コ ス ト) | 育成会活動 | | |
| 改 善 (A C T) | 改 善 | 課 題 | 3 地区育成会の連携 | |
| | | 方 策 | 3 地区育成会の会議開催により情報を共有していく | |
| | 数 値 目 標 (K P I) | 参加児童割合80% | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | 子ども育成会事業 (中学3年生を送る会) | | |
| | 事 業 費 | 75,000円 | | |

| | | | | |
|--------------------------------|--------------------|--|----------------|---------|
| 担 当 部 会 | 教育学習部会 | | | |
| 事 業 名 | 学校支援事業 【学校支援事業】 | | | |
| 計 画 (P L A N) | 事 業 目 標 | 子どもの安全安心を確保する | 事業予算 | 決算額 |
| | 事 業 目 的 | 地域と共にある学校を目指して行く | 52,800 | 100,568 |
| 実 施 (D O) | 事 業 内 容 (実 績) | 学校支援事業 ・希望ヶ丘整備事業 12/4 12/11 (立木伐採) | | |
| 評 価 (C H E C K) | 貢 献 度 (住 民 ニーズ) | 野木沢小学校と連携し環境整備など協力していく | | |
| | 効 率 性 (コスト) | ボランティア活動により効率的に | | |
| 改 善 (A C T) | 改 善 | 課 題 | ボランティアの確保 | |
| | | 方 策 | ボランティア人材バンクの活用 | |
| | 数 値 目 標 (K P I) | 行政区、まちづくり委員会、学校、保護者参加者数 50名 | | |
| 次 年 度 計 画 | 事 業 内 容 | 学校支援事業 (希望ヶ丘整備事業) | | |
| | 事 業 費 | 40,000円 | | |

令和4年度予算（案）

【収入】

（単位：円）

| 項目 | 本年度予算額 | 前年度決算額 | 差引 | 説明 |
|-------|-----------|-----------|---------|------------|
| 事業収入 | | 364,697 | 364,697 | イチジク販売収入 |
| 補助交付金 | 1,280,000 | 1,280,000 | 0 | 地区まちづくり交付金 |
| 繰越金 | 429,405 | 692,767 | 263,362 | 前年度繰越金 |
| 雑収入 | | | 0 | |
| 合計 | 1,709,405 | 2,337,464 | 628,059 | |

【支出】

（単位：円）

| 項目 | 本年度予算額 | 前年度決算額 | 差引 | 説明 |
|----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 会議費 | 94,000 | 69,349 | △ 24,651 | 理事会・総会 24,000円、各分会 5,000円、U50まちづくり集会 60,000円、人材バンク登録事業5,000円 |
| イチジク生産費 | 350,000 | 386,518 | 36,518 | イチジク管理費160,000円（肥料、防虫剤など）作業員手当140,000円（販売支援含む）畑借地代50,000円（2圃場） |
| 地区交流事業費 | 150,000 | 0 | △ 150,000 | のぎさわときめき交流祭事業費150,000円 |
| 中野分会事業費 | 120,000 | 100,000 | △ 20,000 | 藤田城跡整備事業費50,000円 野木沢駅前活性化事業費70,000円 |
| 曲木分会事業費 | 150,000 | 203,900 | 53,900 | 小和清水環境整備事業費70,000円 別途小和清水整備費80,000円 |
| 塩沢分会事業費 | 110,000 | 129,140 | 19,140 | 鉾石水整備68,000円 禿山整備42,000円 ほか |
| 情報発信事業 | 50,000 | 43,960 | △ 6,040 | インターネット整備費（レンタルサーバー代）50,000円 |
| 特産品分会事業費 | 350,000 | 655,337 | 305,337 | 加工所賃借料100,000円 加工所光熱水費150,000円ほか 特産品開発 100,000円 |
| 子育て支援事業 | 335,000 | 319,855 | △ 15,145 | 野小っ子クラブ220,000円 育成会 15,000円 3年生送る会60,000円 学校支援事業40,000円 |
| 予備費 | 405 | 0 | △ 405 | |
| 合計 | 1,709,405 | 1,908,059 | 198,654 | |

収入合計 1,709,405

支出合計 1,709,405

差引 0

令和4年度 野木沢地区まちづくり委員会

| 役職名 | | 氏名 | 区分 | 役職名 | | 氏名 | 区分 | |
|------|-------|-------|-------|--------------|--|--------|-------|---|
| 委員会 | 委員長 | 近内光慶 | | 塩沢部会 | 部会長 | 有賀宏治 | | |
| | 副委員長 | 矢吹雅弘 | | | 副部会長 | 曲山喜巳 | 兼 | |
| | 顧問 | 草野伝明 | | | 事務局 | 有賀忍 | | |
| | | 近内雅洋 | | | 顧問 | 有賀正一 | | |
| | | 宗形兼徳 | | | 会 員 | 志賀正敏 | | |
| | 佐藤 衛 | | 曲山吉徳 | | | | | |
| | 二瓶清正 | | 有賀 義 | | | | | |
| | 佐藤康博 | | 曲山重徳 | | | | | |
| | 二瓶伸一 | | 有賀 勝 | | | | | |
| | 中村健文 | | 有賀義徳 | | | | | |
| | 会計監査 | 二瓶光正 | | | | 鎌田正博 | | |
| | | 相楽勝美 | | | | 久保木久美子 | | |
| | | 曲山喜巳 | | | | 下山田雅男 | | |
| 中野部会 | 部会長 | 二瓶清正 | 兼 | 生産販売 促進部会 | | 部会長 | 近内貞夫 | |
| | 副部会長 | 二瓶光正 | 兼 | | 副部会長 | 紀陸洋平 | | |
| | 事務局 | 近内光慶 | 兼 | | 事務局 | 近内光慶 | 兼 | |
| | 顧問 | 二瓶光男 | | | 会 員 | 近内繁治 | 兼 | |
| | 会 員 | 近内繁治 | | | いちじく 部 | 部会長 | 矢吹重光 | 兼 |
| | | 近内光裕 | | | | 副部会長 | 佐藤昭夫 | 兼 |
| | | 近内一幸 | | | | 会 員 | 相楽博正 | |
| | | 近内博徳 | | | 特産品部会 | 部会長 | 吉田和子 | |
| | | 近内雅洋 | | | | 副部会長 | 二瓶元子 | |
| | | 二瓶文夫 | | | | 事務局 | 添田美恵子 | |
| | | 瀬川洋幸 | | 会 員 | | 二瓶京子 | | |
| | | 二瓶正市 | | | | 二瓶順子 | | |
| | | 二瓶義徳 | | | | 三瓶勝子 | | |
| | | 二瓶 匡 | | | | 佐藤ミサオ | | |
| | | 荻野好章 | | | | 荒井ミドリ | | |
| | | 二平光信 | | | | 十文字朝子 | | |
| | | 円谷正光 | | | | 曲山ノリ子 | | |
| | 二瓶市之助 | | 曲山三枝子 | | | | | |
| | 塩澤昭浩 | | 和気孝子 | | | | | |
| | 二平光彦 | | 中村孝子 | | | | | |
| | 吉田宗治 | | 西 茉美 | | | | | |
| | 藤田 修 | | 藤田 藍 | | | | | |
| | 円谷一美 | | 二瓶恵子 | | | | | |
| 二瓶伸一 | | 岡田美紀 | | | | | | |
| 二瓶義正 | | 佐藤竜代 | | | | | | |
| 円谷卓彦 | | 小松志暢 | | | | | | |
| 曲木部会 | 部会長 | 円谷和司 | | 会 員 | 草野吉明 | | | |
| | 副部会長 | 相楽勝美 | 兼 | | 荻野正美 | | | |
| | 事務局 | 矢吹光明 | | | 佐藤昭夫 | | | |
| | 顧問 | 宇佐美幸雄 | | | 矢吹重光 | | | |
| | 会 員 | 永瀬謙次 | | | ※区分欄の「兼」については、委員会及び部会の 役員等を複数兼務している方です。 | 岩谷隆夫 | | |
| | | 宇佐美喜和 | | | | 相楽美紀 | | |